

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年11月 放射線医学県民健康管理センター
センター長 安村誠司

【研究課題名】震災後の妊娠、出産と線量の関連についての疫学研究：福島県「県民健康調査」

【研究期間】2020年11月（倫理審査承認後）～2030年3月

【研究の意義・目的】

福島県では、東日本大震災後の県民の健康管理の指針を得るために、県民健康調査を実施しています。県民健康調査によって得られるデータは、県民の健康管理の指針を策定するための重要な情報源となっています。全県民の不安解消や、今後、長期にわたる県民の健康管理のための基礎資料を得るために、先行調査の対象地域（浪江町、飯館村、川俣町山木屋地区）の住民及び2011年3月11日時点で県内に居住している住民を対象として、行動記録調査による外部被ばく線量の推定評価を行い、個人レベルでの外部被ばく線量を推定することを目的として、県民健康調査の「福島第一原子力発電所の事故に伴う福島県居住者の外部被ばく量推定のための問診票調査」（以下、基本調査）を実施しました。平成30年3月31日現在、対象者2,026,097人のうち550,580人から回答がありました。県民健康調査の「妊産婦調査」では、産後うつや、放射線リスクに関する改善傾向がみられていることや、低体重や異常出産なども全国平均と変わらないことが明らかとなっています。

本研究の目的は、以下のとおりです。

「妊産婦調査」に含まれる妊娠出産状況等と、「基本調査」で得られた外部被ばく線量の推定値との関連を検討します。

本研究は、避難地区住民の外部被ばく線量と妊産婦調査の結果との関係を解析するものであり、福島県民が最も知りたい情報の1つであり、世界的にもその解析は注目されています。

【研究の対象となる方】

研究対象者は、「妊産婦調査」への参加者です。「妊産婦調査」は2011年から2019年までのそれぞれ8月1日から翌年7月31日までの期間、母子健康手帳の交付を受けた女性を対象としました。本調査は、妊娠・分娩・および分娩1か月後の母児の状態を把握するものであり、2011年3月11日に妊産婦であった女性と、以後新たに母子健康手帳を交付された女性を対象者に含めています。

【研究の方法】

本研究では、「基本調査」および「妊産婦調査」における外部被ばく線量等と「妊産婦調査」の妊娠転帰、産後うつ状況などの問診結果を用いて解析します。新規のデータは取得しません。「妊産婦調査」で得られた回答を妊娠や出産の転帰により分類し、「妊産婦調査」のこころの健康度や生活習慣により分類し、「妊産婦調査」の他の回答内容で、基本的な集計と統計的な結果を示します。妊娠中のメンタルヘルスや妊娠転帰と、「基本調査」で得られた外部被ばく線量との関連についても、統計的な解析を行い、結果を示します。

本研究の結果の公表については、地域別に解析した結果を各市町村に示すとともに、

各市町村の広報誌やホームページ等で結果を広くお知らせいたします。また、全体の結果をホームページ等で公開するとともに、国内外の学会や学術雑誌等により公表します。

【研究組織】

研究責任者

放射線医学県民健康管理センター センター長 安村誠司

研究分担者

放射線医学県民健康管理センター 基本調査・線量評価室 室長

情報管理・統計室 室長

医学部放射線物理化学講座 教授 石川徹夫

放射線医学県民健康管理センター 健康調査支援部門 部門長

医学部疫学講座 教授 大平哲也

放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室 室長

医学部産婦人科学講座 教授 藤森敬也

放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室 副室長

医学部産科婦人科学講座 准教授

附属病院 総合周産期母子医療センター 安田俊

放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室 特任教授 後藤あや

放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室

看護学部母性看護学・助産学部門 講師 石井佳世子

放射線医学県民健康管理センター 疫学室

保健科学部理学療法学科 助教 岡崎可奈子

放射線医学県民健康管理センター 情報管理・統計室 副室長 准教授 中野裕紀

太田西ノ内病院 産婦人科 医長 経塚標

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

担当 大平哲也

電話: 024-547-1738 FAX:024-547-1244

E-mail: teohira@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

担当 大平哲也

電話: 024-547-1738 FAX:024-547-1244

E-mail: teohira@fmu.ac.jp